



興部高校 C・S 通信

令和5年2月27日発行 第11号

第2回学校運営協議会報告

令和4年度第2回学校運営協議会を2月22日に開催しました。事務局から今年度の活動状況の報告、学校運営の取組状況評価・改善策について説明がなされました。第1回の要望を踏まえ、次年度からは先生方（各分掌から1名）も参加する方向で動いていることを報告しました。

次に4年連続、入学予定者20名割れ、地元中学校からの入学者減少による学校存続の危機意識を共有した後、次年度に向けた取組について活発に意見が交わされました。



【次年度活動計画】

1 地域との連携強化

- ・公開授業や出前授業など教科単位での中学校との連携を目指す。
- ・学校運営協議会と教職員の連携を強化し、共通理解を図る。

2 公営塾（つなぐ）との連携

- ・放課後に学びの場を設け、生徒の学力向上を図る。
- ・授業のTTに入ってもらい、授業のサポートをしていただく。
- ・学力向上対策（スタディサプリを使用した学び直しから、検定対策、進学対応まで）
- ・地域コーディネーターとして、学校と地域を結びつける。

3 ICT機器を活用した授業

- ・個に応じた指導を充実させ、基礎学力の定着と学習意欲の向上を図る。

4 生徒たちの個性に応じた教育相談の充実

- ・スクールカウンセラーの派遣時間の延長や外部講師による講演の実施など教育相談の充実を図る。

5 部活動の活性化

- ・外部指導員の招聘（今年度：茶道・吹奏楽）
- ・中学校との合同練習や地元少年団、社会人チームとの連携など

【主な意見（順不同）】

- ・学校存続に大きく影響する、次年度の生徒募集が喫緊の課題である。
- ・興部高校の存在感がない。存在感を示して欲しい。
- ・公営塾（つなぐ）を積極的に活用し、学習支援のみならず、地域貢献活動に関わらせて欲しい。
- ・小中学校との連携を深めて欲しい。特に中学校とは教員同士の交流を具体的に進めて欲しい。
- ・先生方が地域の行事への参加や生徒たちの活動の場面をしっかり見守って欲しい。
- ・公営塾（つなぐ）を地域の交流の場となることを望む。（高校内では集まりづらい）
- ・小学生には高校生の活動が見えない。（学習サポートだけでは、高校生の良さが伝わらない）
- ・先生方は生徒たちのために一生懸命関わってくれている。目的もなく他地域へ進学するなら、興部高校で手厚い指導を受けた方が良い。
- ・学校だよりも、以前記載していた「オーダーメイドの教育」を入れた方が良い。